

2017.02.19 フィリピン-ランデス展覧会 申込み 99 出陳 87 アヤラ アラバン (マニラ近郊の都市)

会場はフィリピンでもかなりの高額所得者が住む地域。そのビレッジの中にあるゴルフカントリークラブ内のサッカーグラウンドで開催されました。朝9時開始が結局10時をまわった頃からでした。これも、フィリピンスタイルかもしれないです。先ずオープニングセレモニーが行なわれましたが、最初に日本の国歌君が代が流され、次にフィリピン国歌が流されました。フィリピンで日本の国歌君が代が流された時は、びっくりするとともにちょっと複雑な思いがしましたが、フィリピン人の思い遣りも感じました。

犬のレベルは、日本と同等もしくは、若干上回っているようにも感じました。ドイツを始めヨーロッパ各国、韓国、中国などからの輸入犬(展覧会の後で知りました)が多く、色素、色調がしっかりとした犬達が多かった様に感じました。毎年ドイツジガー展に行く人が多くなっているそうです。フィリピンでも、アトス、デスペラドスは知名度が高く、アトスの子供もドイツから輸入されています。審査は、目録を一切渡されずカタログナンバーだけの審査表を渡されて審査をしました。ギャラリーも出陳犬もフィリピンジガー展のときよりも大盛況で午後6時過ぎに閉会しました。フィリピンのこれからのシェパード犬発展に期待するとともに、簡単ですが、フィリピン-ランデス展覧会レポートです。

SVJ 審査員 武田宏司

